

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 6年 2月 10日

事業所名: 児童発達支援センター通園くじら

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	17		<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は人数が少ないため。しかし、園庭は狭いため、上の広場等で遊ぶ工夫はしている。 ・園庭は狭いが散歩などで身体を動かしている。 	隣接している広場や公園を使用させていただいたり、近隣の公園まで出かけたりなど工夫している状況です。広い園庭と適切な遊具を所有するためには安定した運営状況が必須とされますが、現在の状況では難しいため、子どもがのびのびと身体を使って遊べるよう、このように工夫を引き続き行
	2 職員の配置数は適切であるか	17		<ul style="list-style-type: none"> ・適切ではあるが、休む時に重なることが多い。 ・適切ではあるものの、その日の子どもの様子や体制などにより、個別に合った療育や適切なサポートが行き届いていない時もある。その際は他のグループからの応援や主任・園長などに保育に入ってもらっている。 	<p>コロナ禍に引き続き、今年度は、社会的にも様々な感染症が立て続けに流行し、職員も利用児童の欠勤・欠席が多くなりました。そんな中でもゆとりをもって人数配置をしているため、配置基準を下回る事はなく、主任や管理者等も保育に入ることができました。</p> <p>来年度も、急な欠勤があったとしても安全で充実した保育が提供できるように余裕のある職員配置を行います。</p>
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか 無記入2名	15		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが見ても分かりやすく楽しめる工夫をしている。 ・不要な物は出さない。使ったら片付ける等の工夫をしている。 	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	16	1	<ul style="list-style-type: none"> ・不要な物は出さない。使ったら片付ける等の工夫をしている。 ・毎日掃除・整理整頓している。 ・清潔は保たれているが、職員配置の変更があつてから、細かい部分の掃除ができていない。床のザラザラ感や汚れが気になることがある。 ・清潔という意味でまだまだするところ、改善していかなければいけないところはあるので、今後細かい所の見直して清掃していこうと思う。 	床がざらざらするため、拭き掃除を行いましいした。

業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	15		・適宜職員会議やケースカンファレンス、話し合い等を行っている。	保育終了後、全職員で保育を振り返り、その後グループリーダー、主任、管理者で話し合いを行い、仮説と手立てを立案し、翌日の職員朝礼で伝達していますが、そのことがPDCAサイクルであるという認識を深める事に課題があると捉えています。一人一人の職員が主体的に処遇について考えられるよう、積み重ねていきます
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか 無記入2名	15			感染予防のための歯ブラシの取り扱いについて、アンケート回収の翌日より改善を行いました。職員の専門性の向上については、研修を積み重ねます。個人情報の取り扱い(配布物の誤配)については、複数人での確認を行い、誤配0を目指します。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか 無記入1名	16			保育以外の職員への情報不足があります。一人一人に丁寧にお伝えしたいと思います。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか				第三者による外部評価を法人で検討していく方針です。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	17		研修を受ける機会があれば参加したいです。	毎年何らかの方法で研修の機会を確保していますが、それに加えて2年ごとに、午後休園をさせていただき全職員の研修を行えることは、職員の専門性を積み重ねていくことにつながっています。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画計画を作成しているか 無記入1名	16			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか 無記入1名	16			
	12	児童発達支援計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか 無記入1名	16		家族のことも考えている。本人だけの支援内容ではないので、よく話を聞いて支援している。	来年度は、個別支援計画にガイドラインに沿った5領域について記す事が定められる方向の様子です。センターの在り方についての指針を熟読し、適切な個別支援計画作成に努めます。
	13	いるか 無記入1名	16			

適切な支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか 無記入2名	15			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか 無記入2名	15		工夫しているが、まだまだ改善点や工夫が必要な部分もある。	まだまだ学習が必要ととらえています。学習について、すべての職員が意欲をもって取り組めるよう、職員集団づくりに力を入れていきます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	17			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	17			
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	17			
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか 無記入2名	15			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか 無記入2名	15			
関係機関や保	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか 無記入2名	15			適切な人材として主任が参画していますが、次世代育成も視野に入れながら重なる業務も必要と考えています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか 無記入2名	15		親子教室への出向、市町の発達相談への同行等	左記業務の他、自立支援協議会子ども部会乳幼児分野WGを設営し、率先して協議を行っています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか 無記入1名	16		引継ぎを行っている。見学等も適宜行っている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか 無記入2名	15		引継ぎを行っている。見学等も適宜行っている。	

護者との連携	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか 無記入1名	16			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか 無記入1名	10	6	わんぱく教室、のびのび教室での交流が少ないように思う。	必要に応じて交流を行います。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか 無記入1名	16			積極的に参加していますが、アウトリーチについては、計画的に次世代育成をしていかなければならないと捉えています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか 無記入1名	16		不十分ではあるかもしれないが、共通理解に努めている。	一人一人のニーズに沿った支援について、さらに研鑽を磨く必要があると感じています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか 無記入2名	15		その都度、個別に合わせた助言等を行っている。	ペアレントトレーニングの在り方について、専門職とも話し合いながら力量を高め、取り組む必要があると捉えています。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか 無記入2名	15			より明確に説明できる工夫が必要。見てわかる工夫も行います。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか 無記入2名	15			ガイドラインの説明が不足していました。より印象に残るような工夫をし、説明を行います。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか 無記入2名	15			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか 無記入2名	15		学習会などで保護者同士の話し合いなど工夫している。	保護者会の役員の方々を中心に、円滑に保護者の交流ができていたと思います。言語面でのマイノリティな保護者にもより良い関係を作って下さっていました。今後も大切にしたいところと捉えています。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか 無記入2名	15		その都度、面接(面談)等を行っている。家庭訪問にも伺っている。	

	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか 無記入2名	15		毎日のノートや保護者の方から聞き入れた内容等、一人で応じれない際は、主任・園長に相談し、アドバイス等を受取る。他にも適宜、情報共有を行っている。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	17		十分に注意しているが、まれにお便りの入れ間違いなどがある。	複数人で確認するシステムを作ります。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか 無記入1名	16			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか 無記入3名	10	4	今年度は行えていない。	地域の業者さんと連携し、夏まつりを行いました。来年度は、近隣にも開かれた行事の工夫を立案していきたいと思えます。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	17		毎月、火災・地震の訓練を行っている。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	17		毎月、火災・地震の訓練を行っている。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか 無記入1名	16		ホワイトボード等を毎日見るように心がけている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか 無記入1名	16			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか 無記入1名	16			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	17			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか 無記入3名	13	1	記載していない	必要な場合には、事前の説明を行い、同意を得る記録の準備等、組織的に決定しています。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。